

受験番号	
------	--

平成30年度

精道三川台中学校 第1回入学試験

総合問題

注 意

- 1 「始め」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 解答用紙の中にはさんであります。
- 3 「始め」の合図があったら、まず、受験番号を問題冊子および解答用紙の受験番号らんに記入しなさい。
- 4 問題は **1** ～ **4** で、1ページから10ページまであります。
- 5 答えは、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 6 「やめ」の合図で、筆記用具を置きなさい。
- 7 試験終了後は、問題冊子および解答用紙を机の上に置いたまま指示があるまで待ちなさい。

1 けんたさんは水産業について発表することになったので、漁師をしている佐藤さんに話を聞くことにしました。

けんた 「長崎県は水産業がさかんだそうですね。」

佐藤さん 「そうですね。漁業をしている人の数や漁業の生産量は全国でも上位になっています。特に、あじ類やたい類の^{ぎょかくりょう}漁獲量は全国一です。」

けんた 「それは知りませんでした。では、日本全体で見た漁業の生産量などはどのようなようすになっているのでしょうか。」

佐藤さん 「現在の水産業のようすがわかりやすいように、漁業別の生産量の変化を示した**グラフ1**と魚かい類の自給率と輸入量の変化を示した**グラフ2**を用意したから見てごらん。」

表

	あじ類	たい類
1	長崎県	長崎県
2	ア	山口県
3	福岡県	福岡県
4	愛媛県	愛媛県
5	宮崎県	ア

(「2016年版 データで見る県勢」より作成)

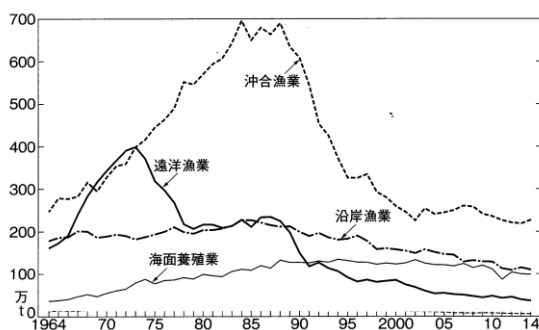
けんた 「**グラフ1**からこの50年間で生産量が大きく減っていることがわかります。その理由としてはどんなことがありますか。」

佐藤さん 「そうですね、経済水域の問題や魚をとりすぎたこと、漁業で働く人が減ったことなどがおもな理由として考えられます。」

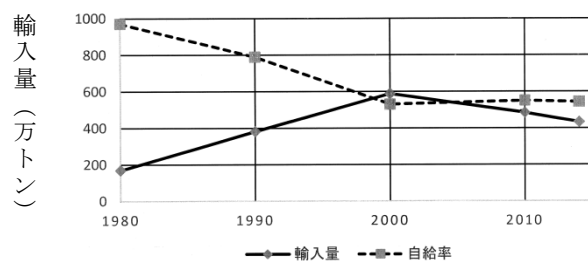
けんた 「その結果、**グラフ2**からわかるように、魚かい類の輸入量が増えて自給率が下がってきたのですね。でも、これからの水産業は、輸入にたよるだけではなく、**イ**のような取り組みが必要ですね。」

佐藤さん 「そうだね。そのためにわたしたちもいろいろな努力をしています。」

グラフ1



グラフ2



(グラフ1、2は「2016/17年版 日本国勢図会」より作成)

問題1 上の表は、あじ類とたい類の生産量の上位5県を示しています。**ア**には、中国地方で一つだけ県の名前と県庁所在地が異なる県があてはまります。

アにあてはまる県の名前を書きなさい。

問題2 **イ**にはどのようなことばが入るでしょうか。あなたの考えを書きなさい。

次の日、けんたさんは水産業の取り組みについて先生と話をしています。

けんた 「水産業の問題点に対してどのような試^{こころ}みが行われているのですか。」

先生 「現在、養殖業^{ようしよくぎょう}や栽培漁業^{さいばい}などのつくり育てる漁業に力を入れているね。」

けんた 「栽培漁業というのは、魚のたまごをかえしてから海や川に放流して、成長した魚をとる漁業のことですね。」

先生 「そうだね。また、漁師さんたちは、山に木を植えることを行っているんだよ。このことが漁業とどういう関係があるのかわかるかな。」

けんた 「はい。[]
で、魚のえさになるプランクトンが増え、それが生産量を増やすことに関係しているのだと思います。」

先生 「そのとおり、よくわかったね。」

問題 3 []にはどのようなことばが入るでしょうか。あなたの考えを書きなさい。

数日後、けんたさんは佐藤さんにお礼の手紙を書いてお母さんに見てもらいました。

手紙

佐藤秀幸様

きびしい暑さが続いています。その後お変わりございませんか。先日はおいそがしい中、時間をさいてくださり、またていねいな説明をしていただきありがとうございます。ありがとうございました。

佐藤さんのお宅に行^いって教えていただいたことを父に伝えたところ、よい勉強になったね、と喜んでくれました。

佐藤さんに説明していただいたことを参考に、ぼくが調^たたことをまとめて発表します。その内容について、発表会が終わった後で、佐藤さんにもお伝えしたいと思います。このたびは、本当にありがとうございます。

七月一日

〇〇小学校六年二組
山本けんた

けんた 「佐藤さんにお礼の手紙を書いたけど、これでいいかな。」

お母さん 「そうね。まず、敬語^{けいご}に直したほうがいいところがあるわね。」

けんた 「そうだね。」

お母さん 「それと、送りがながまちがっているところが2つあるみたいね。」

けんた 「『調^たた』は『調^べた』が正しいよね。もう一つはどこかな。」

問題 4 けんたさんは 一線を引いた部分を敬語に直すことにしました。どのように書き直すとよいでしょうか。

問題 5 手紙の中から(例)以外の送りがなの誤りを一つ見つけ、(例)にならって正しく書き直しなさい。(例) 調^たた→調^べた

2

みちこさんは夕食づくりの手伝いをすることにしました。

みちこさんは夕食の野菜のための材料を買うためにスーパーマーケットに買い物に行ってきました。

みちこ 「買物の支払いをするためにレジに行ったらたくさん並んでいたの、初めてセルフレジで支払いをしたのよ。バーコードを機械にあてるだけでとても簡単だったわ。」

お母さん 「そうね。バーコードを使うとだれでも簡単にレジ作業がおこなえるから便利ね。それに、今は商品の金額だけではなく、いつ、何が、何個売れたかもわかるようになっているのよ。」

みちこ 「そうなんだ。お店ではレジ作業を簡単に早くするだけではなく、いろいろな情報を利用することで、ことなどに役立っているのね。」

問題 1 にはどのようなことばが入るでしょうか。あなたの考えを書きなさい。

バーコードは、しま模様と数字から、商品名や値段などを機械が読み取るようになっています。機械がバーコードを正しく読み取らなければ困るので、次のような仕組みでチェックできるようになっています。

- ① 13 けたの数字を最初から 12 けたの数字と最後の数字に分ける。
- ② 奇数番目の数字を合計する。
- ③ 偶数番目の数字を合計する。
- ④ ③の和に 3 をかける。
- ⑤ ②と④の和を求める。
- ⑥ ⑤の数字の一の位を 10 から引く。
- ⑦ ⑥の数字と最後の数字が同じであれば正しく読み取っている。

(例) 右の図 1 のバーコードの場合

- ② $9 + 8 + 8 + 5 + 9 + 4 = 43$
- ③ $7 + 4 + 7 + 4 + 1 + 7 = 30$
- ④ $30 \times 3 = 90$
- ⑤ $43 + 90 = 133$
- ⑥ $10 - 3 = 7$

図 1



図 2



問題 2 右の図 2 のバーコードで、最後の□にあてはまる数を答えなさい。

みちこさんは夕食の準備を手伝いながらお母さんと話をしています。

みちこ 「1日に食べるといい野菜の量は一人 350 g だってね。」

お母さん 「そうね。それを生で食べようとする、けっこう量が多くなるわね。」

みちこ 「だから、ジュースにしたり、今日みたいに野菜いためなどにしたりするといいのよね。」

お母さん 「野菜をゆでたりいためたりすると、あざやかな色になったり味があまくなったりして、おいしくなるものもあるわね。」

みちこ 「それに、ゆでたりいためたりすると、から食べやすくなるし、量もたくさん食べることができるわね。」

お母さん 「そうね。今日は野菜をたくさん食べて栄養をとってね。」

問題 3 にはどのようなことばが入るでしょうか。あなたの考えを書きなさい。

お母さん 「ところで、食事をして取り入れた養分はどうやって全身に運ばれるか知っている。」

みちこ 「学校で習ったから知っているわ。取り入れた養分は消化器官^{しょうかきかん}で細かく消化されて、そのあとのよね。」

お母さん 「そう、よく知っていたわね。」

問題 4 にはどのようなことばが入るでしょうか。「^{きゅうしゅう}吸収」ということばを使い、あなたの考えを書きなさい。

3

ゆみこさんは日曜日にお父さんと自動車^{でじま}で出島に出かけることにしました。

お父さんが自動車を止めておくために入った駐^{ちゆうしやじよう}車場で、ゆみこさんは資料1のような駐車スペースがあることに気がつきました。

ゆみこ 「これは車いすなどを使う人が利用するための駐車スペースよね。」

お父さん 「そうだね。最近^{こungskyoushiseff}は公共施設やスーパーマーケットなどの駐車場でもよく見かけるようになったね。」

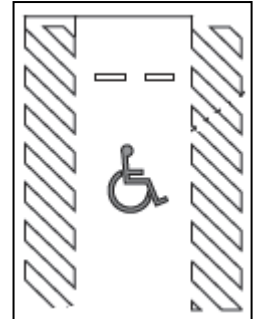
ゆみこ 「そうね。建物に入りやすいように入り口近くに作られているのをよく見るわ。」

お父さん 「そうだね。でも、専用駐車場を入り口近くに作っただけでは十分とはいえないよ。たとえば、雨の日なんかは動きにくいから、屋根があった方がいいよね。建物に入りやすくするためには、他にどのような工夫がされていたらいいと思うかな。」

ゆみこ 「」などの工夫がされているといいと思うわ。」

お父さん 「そうだね。それも大事なことだね。」

資料1



問題1 にはどのようなことばが入るでしょうか。あなたの考えを書きなさい。

出島に着いたゆみこさんとお父さんは、昔の出島^{しゆくしやう}を縮^{もけい}小した模型を見ながら出島について話をしています。

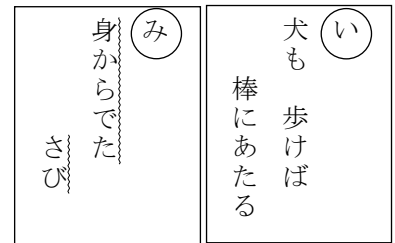
お父さん 「出島は、江戸時代につくられた人工の島なんだ。江戸時代にはオランダと中国だけがここで貿易^{ぼうえき}をすることが許されていたんだよ。」

ゆみこ 「今と違って貿易をする国が限られていたんだね。」

お父さん 「そうだね。このころに、オランダとの貿易でいろいろなものが日本に紹介されたよ。」

ゆみこ 「カステラはオランダから伝わったと聞いたことがあるよ。」

お父さん 「それに、よく遊ぶカルタもオランダ人が伝えたと言われているんだ。」



問題2 江戸がらみの「身からでたさび」と同じ意味を表す漢字4字の熟語を一つ答えなさい。

次の日、ゆみこさんは学校で日本の貿易について先生と話をしています。

ゆみこ 「出島は、江戸時代にただ一つ西洋に開かれていた貿易の窓口だったんですね。」

先生 「そうだね、今は、世界中の多くの国々と貿易によって結びついているね。」

ゆみこ 「現在の日本の貿易はどのようなになっているのですか。」

先生 「2014年の日本のおもな^{ゆしゅつひん}輸出品とその総輸出額にしめる割合を示した資料2があります。輸出品にはどのような特徴^{とくちょう}が見られるかがわかりますか。」

ゆみこ 「機械類と自動車の輸出額の割合が全体の半分以上をしめているのがわかります。」

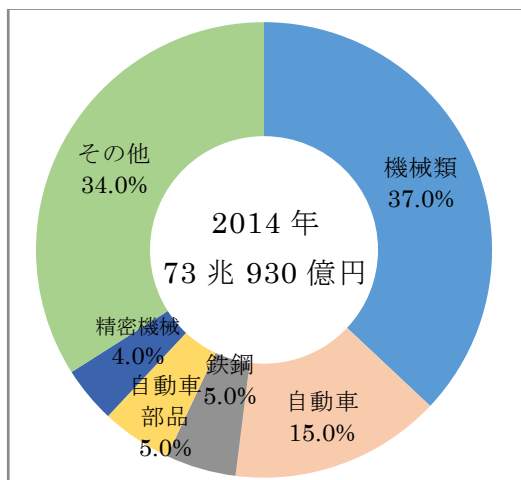
先生 「そうですね。日本で生産された自動車は貨物航空機^{かもつこうくうき}ではなく貨物船を利用していますが、その理由はわかりますか。」

ゆみこ 「写真の貨物船の模型のように、貨物船は貨物航空機に比べて ことができるため、自動車1台当たりの輸送費用が少なくてすむのではないのでしょうか。」

先生 「そのとおりです。それに環境^{かんきょう}にもやさしいこともありますね。」

資料2

おもな輸出品とその輸出額にしめる割合



(「2015/16年版 日本国勢図会より作成」)

写真



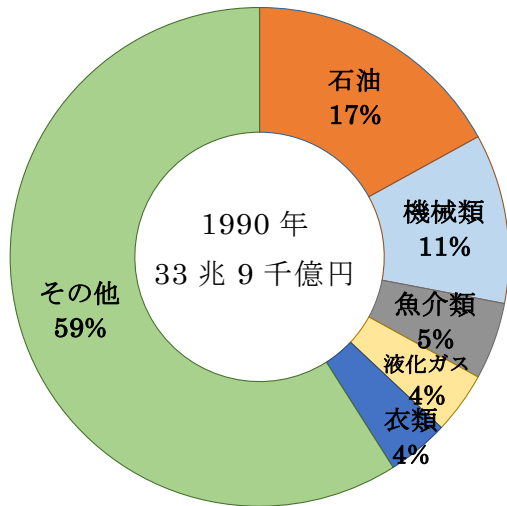
問題3 にはどのようなことばが入るのでしょうか。あなたの考えを書きなさい。

先生 「1990年と2014年の輸入品の輸入額にしめる割合の変化を示した資料3と、自動車と主な電化製品の国内と海外での生産台数の変化を示した資料4があります。現在、輸入品でも機械類が最も多くなっていますが、その理由はわかりますか。」

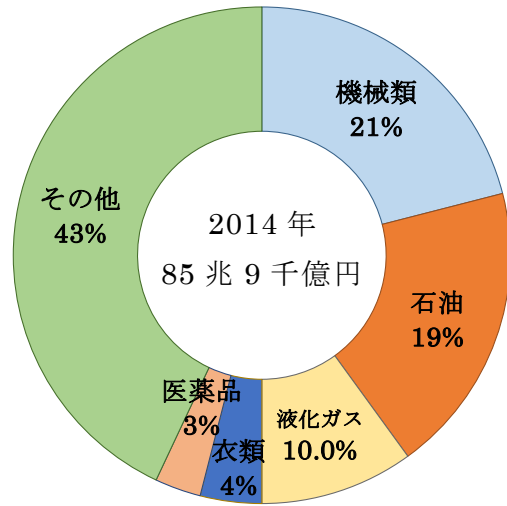
ゆみこ 「」ということが言えるのではないのでしょうか。」

先生 「そのとおりですね。」

資料3 おもな輸入品とその輸入額にしめる割合の変化

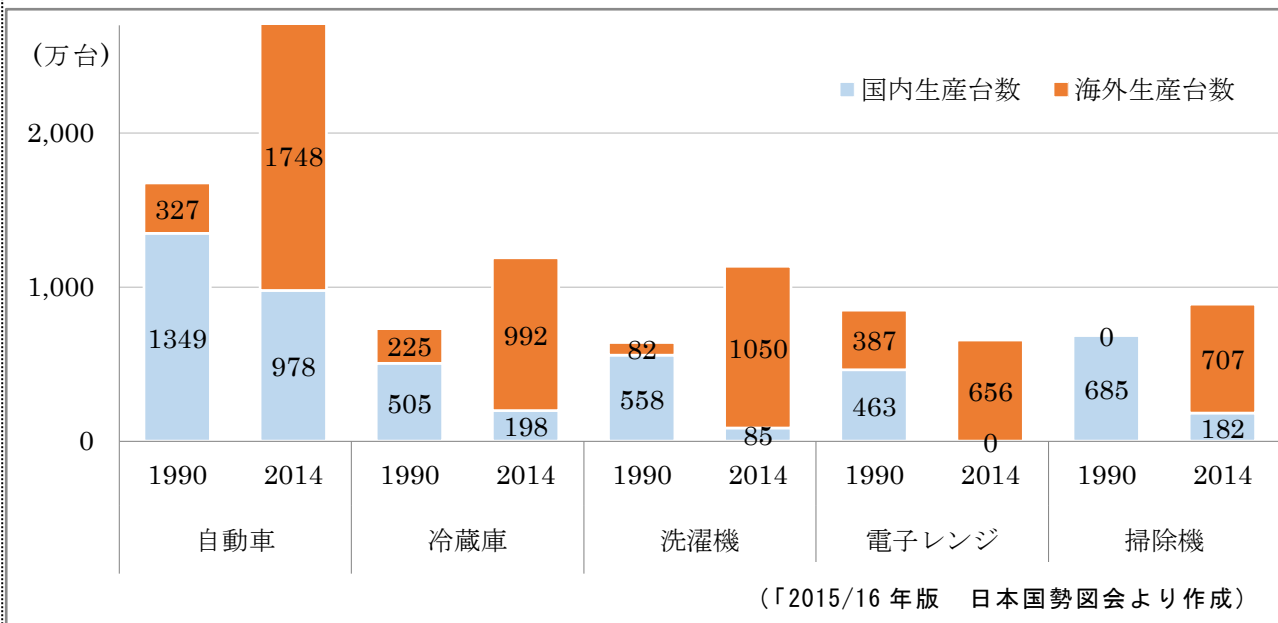


(「1991年版 日本国勢図会より作成)



(「2015/16年版 日本国勢図会より作成)

資料4 自動車と主な電化製品の国内と海外での生産台数の変化



(「2015/16年版 日本国勢図会より作成)

問題4 にはどのようなことばが入るのでしょうか。あなたの考えを書きなさい。

4

しんやさんたちはよしこさんのお誕生日会のかざりつけの準備をしています。

しんや 「この電球かざりは赤色と青色の電球がついたり消えたりしてきれいだね。」

よしこ 「1分間に赤の電球は20回、青の電球は30回光るようになっているのよ。」

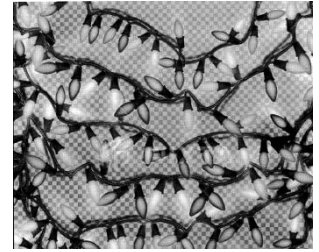
しんや 「すると、1分間に同時に光る回数は **ア** 回だね。」

かおり 「黄色の電球を加えると、もっときれいになるんじゃないかしら。」

よしこ 「どれくらいの^{かんかく}間隔で光ったり消えたりする電球にしたらいいかしら。」

かおり 「3色の電球が1分間に5回、同時に光るようにしましょうよ。」

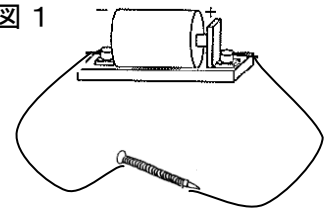
しんや 「それだと、黄色の電球は1分間に5回か、 **イ** 回光るようにすればいいんだ。」



問題1 **ア**、**イ**にあてはまる数を書きなさい。

しんやさんたちは電球かざりを見て、電流に興味を持ちました。図1のような鉄くぎに導線を巻きつけた電磁石を使った回路をつくり、大きいクリップと小さいクリップが鉄くぎにそれぞれ何個つくか調べました。

図1



しんや 「巻き数が多くなるとくっつく数が増えるようだね。」

かおり 「では、100回巻きの電磁石で、電池の数を直列に増やすとどうなるか調べてみましょうよ。」

よしこ 「調べた結果を表1と表2にまとめてみたわよ。」

しんや 「図2のような回路をつくって大小のクリップを同時にくっつけてみると、小クリップが28個と大クリップが6個が同時についたよ。導線を何回巻きつけたかわかるかな。」

よしこ 「小クリップ28個は大クリップ12個分と同じになるわね。ということは、大クリップが18個くっついたということね。」

かおり 「電池2個で18個ということは、 **ウ** だから、 **エ** 回巻きだわ。」

しんや 「そのとおりだよ。」

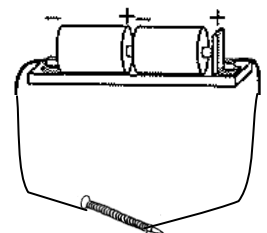
表1

導線の巻き数	100	200	300
小クリップの数	7	14	21
大クリップの数	3	6	9

表2

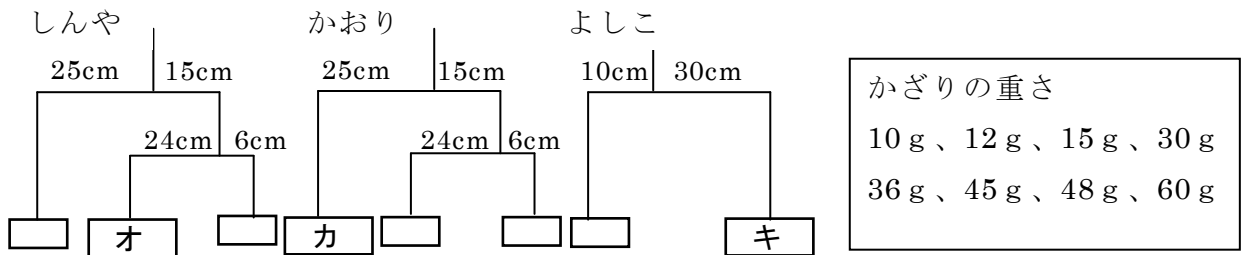
電池の数	1	2	3
大クリップの数	3	6	9

図2



問題2 にはどのようなことばが入るでしょうか。あなたの考えを書きなさい。
また、にあてはまる数を書きなさい。

次に、しんやさんたちはかざりつけのモビールを作ることにしました。用意していたモビールの工作セットには、3つのモビールと重さのちがうかざりが8個入っています。これを使って、3人でそれぞれ一つずつモビールを完成させることにしました。



よしこ 「じゃあ、最初に私が 2 個のかざりを使って作るわね。つり下げているひもの右側の長さが左側の 3 倍になっているから、かざりの重さを、一方がもう一方の 3 倍になるようにすればつり合うわよね。15 g と 45 g を使うとつり合ったわ。」

しんや 「よし、ぼくは重さが 5 の倍数のかざり 3 個でつり合わせよう。あれ、残った 5 の倍数のかざりじゃつり合わないな。」

よしこ 「私が使ったかざりと変えてみたらつり合うんじゃない。」

しんや 「そうだねかざりを変えてやってみよう。やった、うまくいったよ。」

かおり 「最後のモビールも、残りの 3 個を使うとうまくつり合ったわよ。」

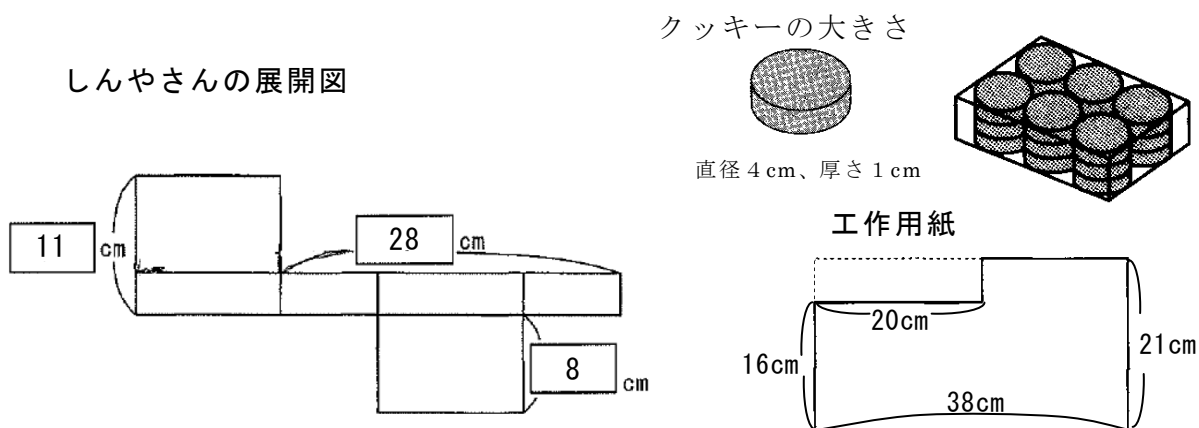
よしこ 「完成したわね。ありがとう。」

問題3 ~ にあてはまるかざりの重さを書きなさい。

よしこさんは誕生日会用にクッキーをたくさん作ったので、先生にプレゼントすることにしました。そこで、しんやさんにクッキーを入れる箱をつくってもらうことにしました。

よしこ 「明日、先生にクッキーをプレゼントしたいのだけれど、クッキーを入れる箱を作ってくれないかしら。クッキー1枚の直径は4cm、厚さは1cmで、これを3枚ずつ重ねたものを6つならべて18枚がぴったり入る箱がほしいの。工作用紙があるから、これで作ってくれない。」

しんや 「わかった、まかせて。まずは、箱の展開図をかいてみよう。」



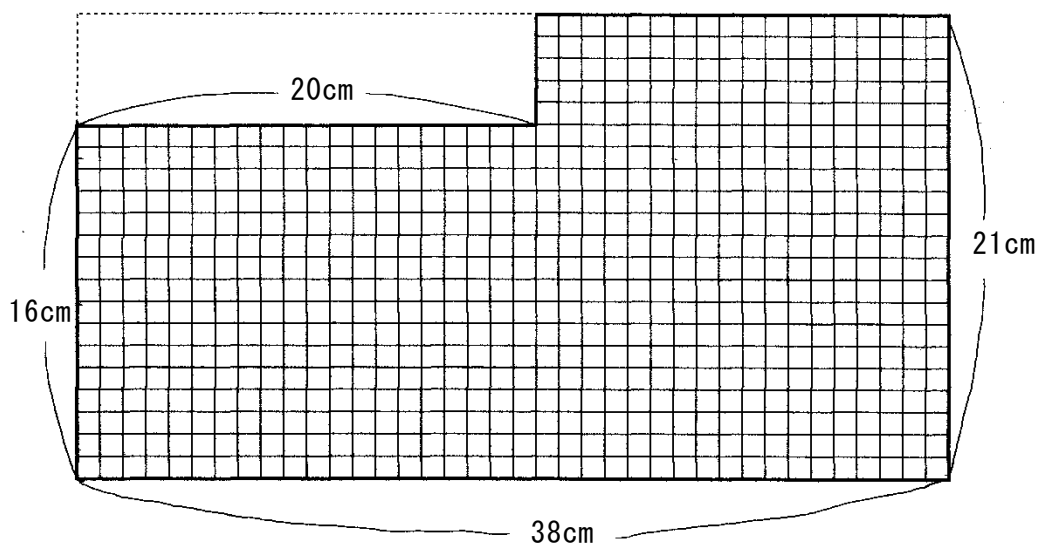
しんや 「それでは、この展開図を工作用紙にかいて箱を作ろう。」

よしこ 「ちょっと待って。この展開図だと工作用紙が使えないみたいよ。」

しんや 「そうか、工作用紙に入りきらないね。それでは別の展開図を考えてみよう。この展開図なら工作用紙に入ると思うけど、どうかな。」

よしこ 「これだとうまくつくれそうね。ありがとう。」

問題4 しんやさんと同じように、あなたの考えた展開図を工作用紙にかきなさい。



1

問題1 島根県

問題2 (例) 国内の生産量を(養殖などにより)増やして、自給率をあげていく

問題3 (例) 森林の下に積もった養分が川から海へ流れこむ

問題4 うかがって

問題5 喜こんで→喜んで

2

問題1 (例1) 仕入れるための商品や個数をきめる

(例2) お客さんが今何を望んでいるかを判断する

問題2 8

問題3 (例) かさが少なくなる

問題4 (例) (養分は) 小腸から吸収され、血液によって(全身に)運ばれる

3

問題1 (例1) 車をとめるスペースを広くする

(例2) 建物の入り口までの段差をなくす

問題2 自業自得

問題3 (例) 一度に大量の自動車を運ぶ

問題4 (例) 海外で生産された自動車や電機製品を日本へ輸入している

4

問題1 ア 10 イ 15

問題2 ウ (例) 電池1個のときの9個分 エ 300

問題3 ア 15 イ 36 ウ 10

問題4 (例)

